

IMSAP スタジオ

イノベーション・マネジメントシステム・
アクセラレーションプログラム

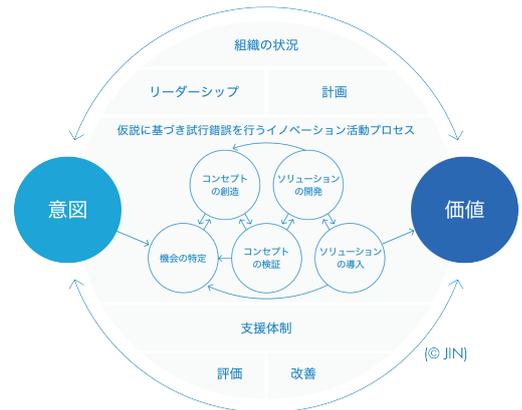
2022年 第6期

「本業を持つ組織からイノベーションを興しづらい」のは、世界各国の企業の共通の悩みです。既存事業の慣習や経営の常識が、イノベーション活動を阻害するからです。そのような悩みを抱えた国が59カ国集まり、イノベーション・マネジメントシステム(IMS)の国際規格、ISO56000シリーズが2019年に発行されました。規格づくりに日本を代表して初期から参画する一般社団法人 Japan Innovation Networkの日本初のIMS実践者向け入門プログラムです。

WHAT'S IMS?

いま日本企業に必要なのは、 古い経営OSの刷新

右図は国際規格 (ISO56002) で定められたイノベーション・マネジメントシステム (IMS) の骨格です。IMSとは継続的なイノベーションに求められる「経営のOS」です。オペレーション(モノづくりとカイゼン)に最適化された経営OSのまま、デザイン思考などの「イノベーションのためのアプリ」を導入しても、期待した成果は生まれません。「古い経営OSの刷新」が、今、日本企業に求められています。



GOALS

イノベーション課題 はお任せください

- イノベーション・マネジメントシステムの実践を検討している
- 様々なイノベーション手法に取り組んでいるものの、成果が出ず苦労している
- イノベーションの必要性は理解しているが、何から着手すべきか苦慮している
- イノベーション推進人材の育成が急務と考えている
- ISO56002 規格を読んでみたものの、その意味合いが十分に理解できない

本プログラムは、世界最先端のイノベーション・マネジメントシステム (IMS) の知を習得し、IMS導入に向けた準備を進めることを目的としています。本プログラムは勉強のための単なる研修ではありません。



最先端知識の習得

ISO56000シリーズに基づき、IMSの要素とあり方を体系的に習得する



チーム構築

各社3-5名で参加しIMS導入・実践の中核となるチームを構築する



IMS 導入準備

担当役員の合意獲得を含む、IMS導入・実践に向けた道筋を立てる



コミュニティ参画

IMS実践をめぐる他企業のリーダー・専門家含むIMSプロフェッショナルのコミュニティの一員となる

PROGRAM AND PRICING

価格 **150万円** (税別)

IMSAPスタジオは、動画学習、対話セッション、自社議論により構成されます。ISO 56002規格の詳細を動画コンテンツで学習し、対話セッションで他社の参加者およびJIN 専門家と議論し、理解を深めます。その後、自社チームで自社の状況把握、IMS 導入準備に向けた準備を進めます。

| 動画学習 | 対話セッション | 自社議論 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">IMSの基本的考え方と国際規格 (ISO 56002) の全体像および各章の詳細を20分×10本の動画で学習ISO 56002 制定時の国際交渉の背景情報を含めた解説を動画化参加者は都合の良い時間に視聴出された課題を事前検討して、対話セッションに臨む | <ul style="list-style-type: none">2時間×5回のオンライン・セッションに複数企業の参加者が集合JIN 解説陣との対話や解説を通じ、規格の深い理解と自社適用のヒントを得るIMS実践を志す参加企業のネットワークや相互学習の機会が実践に向けた取組を加速先進企業へオンライン・ベンチマーキング実施 | <ul style="list-style-type: none">対話セッションで学んだことをもとに、自社実践に向けた適用のポイントや現状の課題を議論議論を通じて IMS 立上げに向けた自社チームを構築 |

※規格を事前に購入し、手元にあることを前提に実施

※オンライン (Zoom) での実施を基本とするが、COVID-19 の状況次第では対面の場を設定

※議論を通じてIMS立上げに向けた自社チームを構築

REQUIREMENTS

| | | |
|--------------------------------------|---|--|
| ✓ 自社のIMS導入・実践に熱意あるリーダーの存在 (役職は問いません) | ✓ IMS検討・推進に関わる3~5名による参加 (活動を通じてチームを構築します) | ✓ IMS導入・推進を支援する役員の存在 (不在の場合、活動期間中に探していただきます) |
|--------------------------------------|---|--|

SCHEDULE

| 動画学習 | 対話セッション | 自社議論 |
|---|---|--|
| <ol style="list-style-type: none">IMSの基本ISO 56002概要解説 | 第1回 2022年10月25日(火) 15:00-17:00 ・なぜイノベーションにマネジメントシステムが必要なのか ・IMSの全体像を理解する ・ISO 56002の意味合いを理解する | ・復習テストの実施 ・なぜ自社にIMSが必要か議論 ・説得すべき役員と巻き込む仲間の候補をリスト化 |
| <ol style="list-style-type: none">3-4. イノベーション活動 (8章) ・活動の計画・機会の特定・コンセプトの創造と検証 ・ソリューションの開発と導入 | 第2回 2022年11月10日(木) 15:00-17:00 ・イノベーション活動とそのプロセスのあり方を理解する | ・復習テストの実施 ・自社のイノベーション活動のあり方を議論 ・役員・仲間へのアプローチ開始 |
| <ol style="list-style-type: none">5-6. 支援体制の確立 (7章) ・経営資源の概念と人材・時間と知識のマネジメント ・財務とインフラ・力量のマネジメント ・認知度、コミュニケーションと文書化情報 ・ツール、方法と知財のマネジメント | 第3回 2022年11月30日(水) 15:00-17:00 ・支援体制の重要性と経営資源の投入のあり方を考える | ・復習テストの実施 ・自社の支援体制の課題を議論 ・IMS導入に向けた道筋を議論 |
| 作戦会議の実施 (4章) ・IMS導入およびアセスメント実施に向けた現状と計画について、JINチームと各社個別の議論を実施 | | |
| <ol style="list-style-type: none">7. 組織の現状 (4章) ・組織状況の理解・利害関係者のニーズと期待8. リーダーシップの重要性 (5章) ・リーダーシップコミットメント・ビジョンとイノベーション戦略9. 計画策定 (6章) ・機会とリスクを明らかにする・目的と達成に向けた計画の策定 | 第4回 2022年12月23日(金) 15:00-17:00 ・自社の現状を把握する ・リーダーシップの重要性を理解する ・計画策定の重要性を理解する | ・復習テストの実施 ・組織の現状、リーダーシップ、計画策定に関する課題を議論 ・IMS導入に向けた道筋を議論 |
| <ol style="list-style-type: none">10. 評価と改善 (9/10章) ・測定/分析/評価および内部監査 ・マネジメントレビューと改善 | 第5回 2023年1月18日(水) 15:00-17:00 ・評価と改善を通じたマネジメントシステムの習熟の重要性を理解する ・各社のIMS導入に向けた現状を共有し合う | ・修了テストの実施 (所定の条件を満たせば、IMSジュニア・プロフェッショナル認定) |

HOST

| | | |
|--|--|---|
|  <p>紺野 登 Noboru Konno JIN 代表理事</p> |  <p>松本 毅 Takeshi Matsumoto IMS エバンジェリスト JIN 常務理事</p> |  <p>荻原 直紀 Naoki Ogiwara JIN IMSAP スタジオ ディレクター</p> |
|--|--|---|

お問い合わせ・お申し込みはこちらから
 ims@ji-network.org



一般社団法人 Japan Innovation Network
〒100-0011
東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー 8階
TEL: 03-5510-7188 <https://ji-network.org>